

様式1-3(統一栽培暦様式)

もっと安心農産物 春菊栽培暦

令和6年

JAちばみどり旭露地野菜部会 もっと安心生産班

1. 土づくり

完熟堆肥を必ず使用し土作りを行なう。(入手先、原料の確認出来る物)

2. 施肥 (化学肥料由来の窒素成分は、11.5kg以下)

	肥料名(N-P-K)			施肥量(10a)	備考		
基肥	選択	・有機アグレット825	(8-2-5 有機100%)	300kg	土壤診断により 施肥量の増減 *有機配合は栽培に合 わせ選択する*		
		・夢ばかり	(6-5-3 有機100%)				
		・ジャストフィット(化成窒素1.2%)	(7-3-1)				
		・ぐみあい化成8号	(8-8-8)	100kg			
	K-1加里33(加里33%・硫黄10.7%石灰10.2%苦土4.1%ホウ素0.14%)			60kg			
	硫酸マグカル(苦土12.5%・カルシウム9.6%・ケイ酸6.8%)			60kg			
	ウマミノール *総合微量元素+海のミネラル(石灰25%・苦土6%・リン酸9%・カリ4%)			60kg			
	ベストマグ(苦土22%)			100kg			
	粒状サンライム(アルカリ分46%)			120kg			
	畑のカルシウム(硫酸カルシウム 28.6%)			120kg			
	作どん(フミン酸資材)			200kg			
	レスキュー(ケイ酸鉱物質資材)			105kg			
追肥	有機	選択	・夢ばかり	(6-5-3 有機100%)	1作あたりの使用上限なし		
			・ジャストフィット(化成窒素1.2%)	(7-3-1)			
			・ミラクルアミノ(化成窒素5.8%)	(10-0-4.5)			
	液肥	化成	*ぐみあい化成8号	(8-8-8)	20~40kg		
			アミアタック	(6-5-5)			
			グット・アミノ1号	(8-3-2)			
			トミー液肥グリーン	(6-8-8)			
			トミー液肥ブラック	(10-4-6)			
葉面散布	カルマグホウ素PK				葉先枯、芯グサレ対策		
	B作						
	セルキープ						
	ミネホープ						
	森のエキス						
液肥灌水	1000倍				生育促進		
	1000倍				成り疲れ、残留硝酸窒素対策		
	1000倍				寄生センチュウ、連作障害対策、発根促進		
	1トロ/10a						

(注)液肥灌水設備がなく、\*ぐみあい化成8号のみで追肥を行う場合、1作あたりの使用上限は140kgとなります。

3. 防除 ( 化学合成農薬使用成分回数は、8回以内にする。 )

月/旬	作業	病害虫の発生時期	薬剤名	濃度・使用量	使用時期	備考
7~8月	土壌消毒		① バスマジド微粒剤	20kg/10a	播種21日前	○ 夏季太陽熱消毒もしくは土壌還元消毒の実施
			② カルホス微粒剤F	6kg/10a	定植時	
9月	播種育苗		③ ストロビーフロアブル	3000倍	収穫14日前	○ 育苗ハウスは防虫ネットを張り、害虫の侵入を防ぐ
10/上	移植		④ ベストガード粒剤	9kg/10a	定植時	○ 定植時または生育期のみ使用可能なので直播きで土壌混和させるのは使用できないので注意。
10/中			⑤ アファーム乳剤	2000倍	収穫7日前	害虫対策 ○ ハウスの喚起、出入口には、ネットを張り外部からの害虫の侵入を防ぐ。 ○ ハウス周辺の雑草は害虫の棲みかになるおで除草を実施する。 ○ 粘着板を吊るし害虫を捕殺する。(ハモグリバエ防除イエロー) ○ ハウス内で春菊以外の作物を作らない。
10/下			⑥ アミスター20フロアブル	2000倍	収穫前日	
			⑦ ウララDF	4000倍	収穫前日	
11/上			⑧ ディアナSC	2500~5000倍	収穫前日	
11/中	アブラムシ ヨトウ類 収穫始め	炭そ病・べと病				病害対策 ○ 病害発生株は直ちに抜き取り、圃場外に穴を掘って埋める。 ○ 灌水を一度多量に行なうと菌核病、炭そ病が発生するので、低圧少量で回数を増やす。 ○ 菌核病、炭そ病は地表面の病原菌が灌水で土壤から跳ね上がり感染する。また、ハウス内の湿度が高くなると蔓延しやすいので、適度に喚起を行う。 ○ 株が混みあうと菌核病が発生しやすいので、株間は広めにとり、株元の通風をよくする。
12月						
1月						
2月						
3月						

	<p><b>病害虫の発生状況により選択</b></p> <p><b>*化学農薬にカウントされるもの*</b></p> <p>★バスアミド微粒剤 (20kg/10a、播種21日前:土壤混和、1回) ……一年生雑草・萎凋病</p> <p>★カルホス微粒剤F (6kg/10a、定植時:土壤混和、1回) ……ネキリムシ</p> <p>★ベストガード粒剤 (9kg/10a、定植時:土壤混和、1回) ……マメハモグリバエ・ア布拉ムシ・コナジラミ類</p> <p>★ガードベイトA (3kg/10a、生育初期:株元散布、2回) ……ネキリムシ</p> <p>★アファーム乳剤 (2000倍、収穫7日前、2回) ……アザミウマ類・ハモグリバエ類・シロイチモンジョトウ</p> <p>★アクタラ顆粒水溶剤 (2000倍、収穫14日前、3回) ……ア布拉ムシ類・ナモグリバエ</p> <p>★ウララDF (4000倍、収穫前日、2回) ……ア布拉ムシ類</p> <p>★エビセクト水和剤 (2000倍、収穫14日前、2回) ……マメハモグリバエ</p> <p>★カスケード乳剤 (2000～4000倍、収穫7日前、2回) ……アザミウマ類・ヨトウムシ・ハスモンヨトウ・マメハモグリバエ</p> <p>★コテツフロアブル (2000倍、収穫14日前、2回) ……ハスモンヨトウ</p> <p>★スタークル顆粒水溶剤(アルバリン) (3000倍、収穫前日、2回) ……ア布拉ムシ類</p> <p>★ディアナSC (2500～5000倍、収穫前日、2回) ……オオタバコガ・ハスモンヨトウ・ハモグリバエ類</p> <p>★プレオフロアブル (1000倍、収穫前日、2回) ……ハスモンヨトウ</p> <p>★モスピラン顆粒水溶剤 (8000倍、収穫3日前、2回) ……ア布拉ムシ類</p> <p>◎アミスター20フロアブル (2000倍、収穫前日、2回) ……炭疽病</p> <p>◎ストロビーフロアブル (3000倍、収穫14日前、3回) ……炭疽病</p> <p><b>注意</b> 化学合成農薬として使用成分回数にカウントされるため、防除欄記載農薬との選択により活用してください。</p> <hr/> <p><b>*化学農薬にカウントされないもの*</b></p> <p>★サフォイル乳剤 (300倍、前日、制限なし) ……コナジラミ類・ハダニ類・チャノホコリダニ・うどんこ病</p> <p>★ムシラップ (500倍、前日、制限なし) ……ア布拉ムシ類・コナジラミ類・ハダニ類・うどんこ病</p> <p>★フーモン (1000倍、前日、制限なし) ……ア布拉ムシ類・ハダニ類・コナジラミ類・うどんこ病</p> <p><b>注意</b> 水分中の石灰分によっては汚れに注意が必要。</p> <p>◎ボトリカ水和剤 (2000～4000倍、発病前・初期、制限なし) ……灰色かび病 《ボトリカ水和剤は微生物農薬なので、注文品となります。》</p> <p>◎コサイド3000 (2000倍、制限なし、制限なし) ……軟腐病・黒腐病・斑点細菌病</p> <p>◎ドイツボルドーA (1000倍、制限なし、制限なし) ……べと病・軟腐病</p> <p>◎Zボルドー (500倍、制限なし、制限なし) ……べと病・軟腐病・黒腐病</p> <p>◎ジーファイン水和剤 (1000倍、前日、制限なし) ……軟腐病・白さび病・うどんこ病</p> <p>◎ハーモメイト水溶剤 (800～1000倍、前日、制限なし) ……うどんこ病・灰色かび病・さび病</p> <p>★エスマルクDF (1000倍、前日、制限なし) ……オオタバコガ・ヨトウムシ</p> <p>★ゼンターリ顆粒水和剤 (1000倍、前日、制限なし) ……アオムシ・コナガ・ヨトウムシ</p> <p>★デルフィン顆粒水和剤 (1000倍、前日、制限なし) ……オオタバコガ・ヨトウムシ</p>
--	--

☆みんなで守ろう生産基準